

沖縄県の農林水産業の概要

特徴・取組

沖縄県は、東西約1,000km、南北約400kmに及び、大小約160もの島からなっている。

亜熱帯地域の温暖な気候と、広大な海に囲まれた地理的特性を有しているが、他方で台風の常襲など厳しい側面もある。温暖な気候や琉球王朝の文化を活かした観光が主力産業となっている。

沖縄県の産業構造は、県内総生産の産業別割合を国内総生産と比較すると、第1次産業が同程度、第2次産業が低く、第3次産業が高いことが特徴である。

離島部においては、就業者数の約15%が第1次産業に従事しており、地域の雇用を支えている。

沖縄県内各地で、地域や島ごとの土壌や自然環境を活かした農林水産業が営まれている。

豊かな牧草資源を活かした肉用牛の繁殖経営が盛んで、肉用牛産出額は県内農業産出額の22%を占める。

耕種作物では、さとうきび、にがうり（ゴーヤー）、パインアップル、マンゴーなどの品目が収穫量全国第1位となっている。特にさとうきびの生産は地域農業だけでなく地域経済を支えている。農業産出額は、ここ数年1,000億円前後で推移していたが、コロナ禍を経て令和4年は、890億円となった。

また、豊富な海洋資源に恵まれ、まぐろ等の回遊性魚類を対象とした漁業や、もずく類等の海面養殖業が盛んである。

沖縄県は、地理的条件により水不足に悩まされていたが、国営かんがい排水事業により地下ダム等のかんがい施設を整備することで、高収益作物の導入を拡大している。

具体的には、温暖な亜熱帯性気候を活かし、他地域では端境期となる冬春期にいんげん、かぼちゃ、ピーマン等を県外に出荷することで野菜の国内での安定供給に貢献している。ブランドの確立にも力を入れており、令和5年度には「ぐしちゃんピーマン」及び「中城（なかぐすく）島にんじん」がGI（地理的表示）に登録された。

また、地域ごとの土壌の性質等の違いも活かし、島野菜（島ニンジン、島らっきょう等）や熱帯果樹（マンゴー、パインアップル等）など多種多様な品種の生産が県内各地で行われている。特色ある野菜、果樹等の生産により、県民需要やコロナ禍を乗り越え回復しつつある豊富な観光需要への対応を目指している。

主な農林水産物

さとうきび

沖縄県内のほぼ全域で栽培されている基幹作物である。栽培面積・収穫量ともに全国の過半数を占める。（栽培面積・収穫量全国第1位）



パインアップル

本島北部地域や八重山地域で生産される。近年「ゴールドバレル」等、新品種のブランド化に取り組んでいる。（収穫量全国第1位）



シークワサー

沖縄県の特産果樹。本島北部を中心に生産され、ほとんどが加工用として利用される。（収穫量全国第1位）



肉用牛（子牛）

年間を通じて豊かな牧草資源を活かした繁殖経営が主体。八重山・宮古地域を中心に、県内各地で生産されている。（黒毛和種子牛取引頭数全国第4位）



もずく類（養殖）

沖縄県の養殖業の中で最も多く収穫されている。全国の収穫量のほぼ全てが沖縄県産である。（収穫量全国第1位）



にがうり（ゴーヤー）

冬春期に全国に供給される主力野菜。本島南部地域を始め県内各地で生産され、収穫量は全国の約4割を占める。（収穫量全国第1位）



マンゴー

近年増加している主力の果樹。宮古島市・石垣市・豊見城市（とみぐすくし）など県内各地で生産され、収穫量は全国の過半数を占める。（収穫量全国第1位）



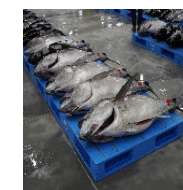
きく

春期に全国に供給される主力花き。糸満市やうるま市を始め本島を中心に生産され、出荷量は全国の約2割を占める。（出荷量全国第2位）



まぐろ類

沖縄県の中で最も多く漁獲されている。多くは冷凍せずに生鮮のまま水揚げされている。（漁獲量全国第6位）



くるまえば（養殖）

もずくと並び沖縄養殖業の主力製品のひとつである。収穫量は全国の3割以上を占める。（収穫量全国第1位）



沖縄県県内の各地域における農林水産物

中部地域

【農畜産物】さとうきび、肉用牛、さやいんげん、オクラ、にんじん、マンゴー天草（かんきつ類）、びわ、花き（きく等）、かんしょ、グアバ
 【水産物】アーサ（養殖）、ソデイカ、もずく類（養殖）

南部地域

【農畜産物】さとうきび、肉用牛、さやいんげん、ゴーヤー、レタス、オクラ、かぼちゃ、にんじん、ピーマン、トマト、きゅうり、マンゴー、パパイア、パッションフルーツ、花き（きく等）、かんしょ、ウコン、スターフルーツ
 【水産物】まぐろ類、くるまえばい（養殖）ソデイカ、もずく類（養殖）

北部地域

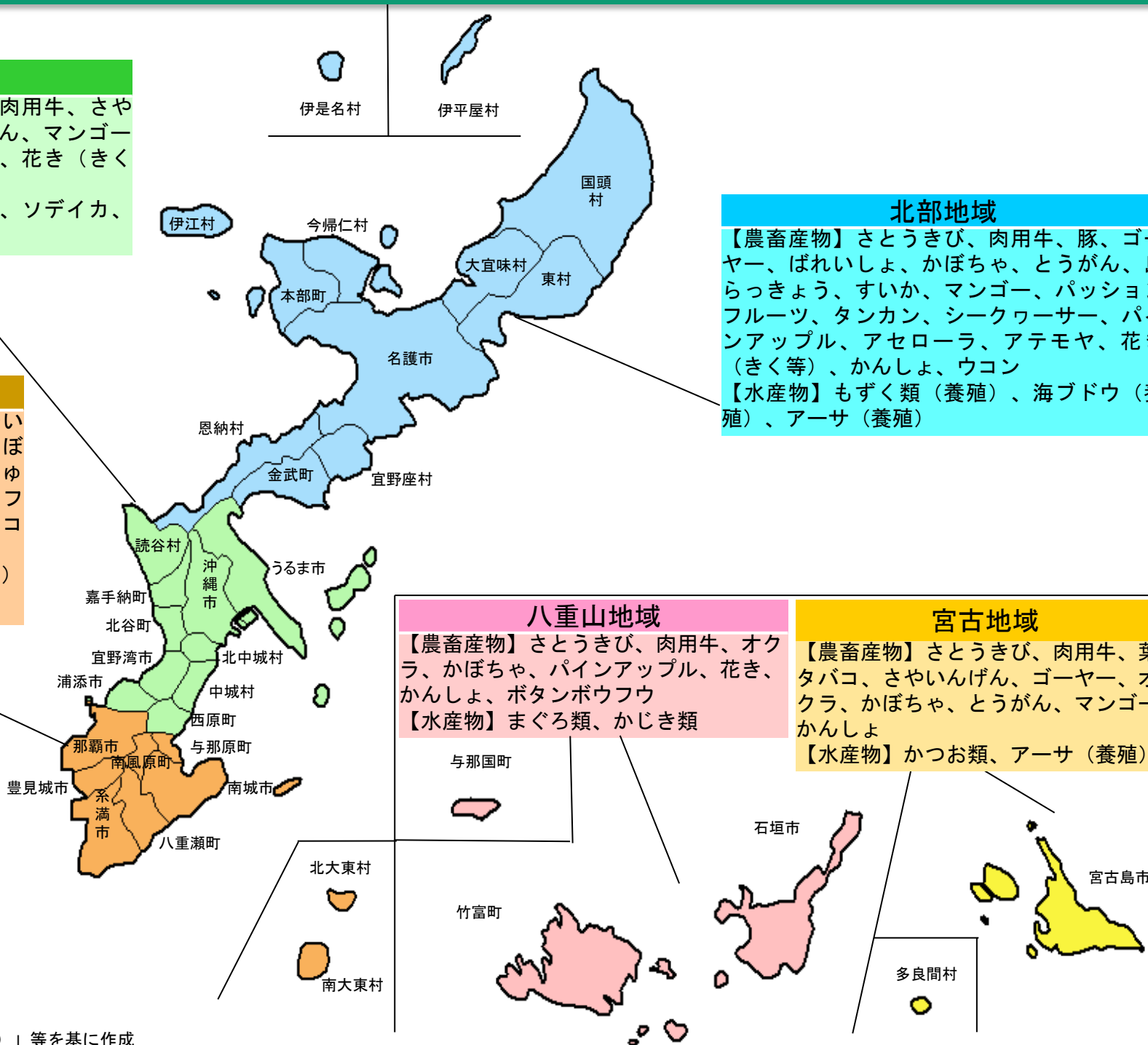
【農畜産物】さとうきび、肉用牛、豚、ゴーヤー、ばれいしょ、かぼちゃ、とうがん、島らっきょう、すいか、マンゴー、パッションフルーツ、タンカン、シークワサー、パインアップル、アセローラ、アテモヤ、花き（きく等）、かんしょ、ウコン
 【水産物】もずく類（養殖）、海ブドウ（養殖）、アーサ（養殖）

八重山地域

【農畜産物】さとうきび、肉用牛、オクラ、かぼちゃ、パインアップル、花き、かんしょ、ボタンボウフウ
 【水産物】まぐろ類、かじき類

宮古地域

【農畜産物】さとうきび、肉用牛、葉タバコ、さやいんげん、ゴーヤー、オクラ、かぼちゃ、とうがん、マンゴー、かんしょ
 【水産物】かつお類、アーサ（養殖）



沖縄県の農業（１）

- ・耕地面積は３万６，１００haで全国３５位。うち田が７５１ha、畑が３万５，４００ha。
- ・農業経営体数は１万１，３１０経営体で全国４２位。うち法人経営体が４２４経営体で３３位。
- ・認定農業者数は１，１７７経営体で全国４３位。うち法人数が２４３法人で３９位。

耕地面積

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
耕地面積	36,100 ha	4,297,000 ha	35
田	751 ha	2,335,000 ha	46
畑	35,400 ha	1,962,000 ha	12
普通畑	27,500 ha	1,120,000 ha	10
樹園地	1,880 ha	253,500 ha	38
牧草地	6,000 ha	589,000 ha	4
参考）総土地面積	228,209 ha	37,797,539 ha	44

出典：「令和５年耕地面積（７月１５日現在）」、「令和６年全国都道府県市区町村別面積調（１月１日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,588 ha	253,217 ha	26

出典：「令和４年度の荒廃農地面積（令和５年３月３１日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	9,359 ha	2,573,672 ha	38
集積率	25.8 %	59.5 %	43

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和４年度版）」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和６年３月３１日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「○」：単位に満たないもの（例：０.４ｔ→０ｔ）

「－」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「×」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
農業経営体数	11,310 経営体	1,075,705 経営体	42
法人経営体	424 経営体	30,707 経営体	33
総農家数	14,747 戸	1,747,079 戸	46
販売農家	10,674 戸	1,027,892 戸	41
参考）世帯総数	614,708 世帯	55,830,154 世帯	25
集落営農数	7 集落営農	14,204 集落営農	44

出典：「２０２０年農林業センサス（令和２年２月１日現在）」、「令和２年国勢調査」（総務省統計局）、「令和５年集落営農実態調査結果（令和５年２月１日現在）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	13,288 人	1,363,038 人	40
男	9,511 人	822,144 人	39
女	3,777 人	540,894 人	41
65歳以上	8,035 人	948,621 人	42
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	60.5 %	69.6 %	－
認定農業者数	1,177 経営体	219,846 経営体	43
法人数	243 法人	28,720 法人	39
参考）総人口数	1,467,480 人	126,146,099 人	25

出典：「２０２０年農林業センサス（令和２年２月１日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和５年３月末現在）」、「令和２年国勢調査」（総務省統計局）

沖 縄 県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は890億円で全国34位。うち野菜が127億円（14.3%）、果実が61億円（6.9%）、畜産が412億円（46.3%）。
- ・農畜産物の生産状況は、さとうきび、パインアップル、シークワサー、マンゴー、にがうり、とうがんが全国1位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が1億円で全国13位、事業体数は30経営体で9位。

農業産出額

区 分	沖縄県	全国	全国順位
農業産出額	890 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	34
米	4 億円 (0.4)	13,946 億円 (15.5)	46
麦類	0 億円	647 億円	29 *
雑穀	0 億円	83 億円	23
豆類	0 億円	715 億円	42
いも類	11 億円	2,199 億円	19
野菜	127 億円 (14.3)	22,298 億円 (24.8)	40
果実	61 億円 (6.9)	9,232 億円 (10.3)	35
花き	83 億円	3,493 億円	11
工芸農作物	185 億円	1,551 億円	3
その他作物	5 億円	607 億円	24 *
畜産	412 億円 (46.3)	34,678 億円 (38.5)	23
肉用牛	192 億円	8,257 億円	9
乳用牛	34 億円	9,013 億円	33
生乳	34 億円	7,916 億円	32
豚	120 億円	6,713 億円	18
鶏	63 億円	9,716 億円	33
鶏卵	48 億円	5,638 億円	29
ブロイラー	15 億円	3,940 億円	29 *
その他畜産物	2 億円	979 億円	23
加工農産物	1 億円	565 億円	29

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	沖 縄 県	全 国	全国順位
さとうきび	収穫量	R4	737,600 t	1,272,000 t	1
パインアップル	収穫量	R4	7,420 t	7,420 t	1
きく	出荷量	R4	216,500 千本	1,227,000 千本	2
肉用牛	飼養頭数	R5	81,000 頭	2,687,000 頭	8
豚	飼養頭数	R5	195,900 頭	8,956,000 頭	14
シークワーサー	収穫量	R3	3,879 t	3,880 t	1
タンカン	収穫量	R3	502 t	3,304 t	2
マンゴー	収穫量	R3	2,202 t	4,032 t	1
にがうり	収穫量	R2	7,130 t	17,900 t	1 *
とうがん	収穫量	R2	2,900 t	8,750 t	1 *

出典：「作物統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	沖縄県	全 国	全国順位
農産加工	総額 6,072 百万円 事業体数 180 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	39 45
農産物直売所	総額 15,348 百万円 事業体数 100 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	35 47
観光農園	総額 382 百万円 経営体数 20 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	27 40
農家民宿	総額 103 百万円 経営体数 30 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	13 * 9 *
農家レストラン	総額 717 百万円 事業体数 10 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	21 * 38 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

沖 縄 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は6.1億円で全国45位。うち栽培きのこ類生産が5.8億円。
- ・ 林産物の生産状況は、その他きのこ（くろあわびたけ）が4位、粉炭が7位、黒炭が13位。

林業産出額

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
林業産出額	6.1 億円	5,806.6 億円	45
木材生産	x 億円	3,604.6 億円	- *
栽培きのこ類生産	5.8 億円	2,079.5 億円	37

出典：「令和4年林業産出額」

林野面積

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
林野面積	115,602 ha	24,770,201 ha	42
国有林	31,767 ha	7,153,338 ha	26
民有林	83,835 ha	17,616,863 ha	44
人工林面積	12,233 ha	10,133,111 ha	47

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
林業経営体数	8 経営体	34,001 経営体	47
法人経営体	5 経営体	4,093 経営体	47

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
素材生産量	x 千m ³	22,082 千m ³	- *
針葉樹	x 千m ³	20,386 千m ³	-
広葉樹	x 千m ³	1,696 千m ³	- *
粉炭	生産量 9 t	5,119 t	7 *
黒炭	生産量 46 t	3,952 t	13 *
生きくらげ類	生産量 24 t	1,683 t	20 *
その他きのこ（くろあわびたけ）	生産量 7 t	145 t	4 *

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
工場数	3 工場	3,804 工場	47
製材用素材の入荷があった工場数	3 工場	3,778 工場	47
国産材のみ	2 工場	3,054 工場	47
国産材と輸入材	1 工場	560 工場	37

出典：「令和4年木材需給報告書」

沖 縄 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は172億円で全国22位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のびんながが全国4位、まぐろ類が6位、きはだが8位、海面養殖業のもずく類、くるまえびが1位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が27億円で全国16位、事業体数は40事業体で10位。

漁業産出額

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	172 億円	14,372 億円	22

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,733 経営体	79,067 経営体	10
内水面漁業経営体数	4 経営体	4,772 経営体	47

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁業就業者数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	3,686 人	151,701 人	14
男	3,580 人	134,186 人	14
女	106 人	17,515 人	25

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁船隻数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
漁船隻数	2,947 隻	132,201 隻	19
動力漁船	2,071 隻	69,920 隻	13

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	27,554 t	3,862,831 t	26 *
海面漁業漁獲量	10,689 t	2,950,992 t	33
まぐろ類	6,549 t	122,299 t	6
びんなが	2,093 t	23,525 t	4 *
きはだ	2,313 t	53,030 t	8 *
海面養殖業収獲量	16,865 t	911,839 t	16 *
もずく類	15,172 t	15,238 t	1 *
くるまえび	372 t	1,198 t	1 *
内水面漁業・養殖業生産量	x t	54,115 t	- *
内水面漁業漁獲量	- t	22,612 t	-
内水面養殖業収獲量	- t	31,503 t	- *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
水産加工	総額 2,689 百万円 事業体数 40 事業体	181,820 百万円 1,460 事業体	16 * 10 *
水産物直売所	総額 964 百万円 事業体数 40 事業体	37,410 百万円 840 事業体	11 * 6 *
漁家民宿	総額 153 百万円 経営体数 30 経営体	5,986 百万円 740 経営体	14 * 7 *
漁家レストラン	総額 789 百万円 事業体数 30 事業体	11,598 百万円 420 事業体	5 * 3 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

沖縄県の農林水産業の話題等（１）

地理的表示（GI）品目の登録拡大

沖縄県内において、地理的表示（GI）の登録に向けた取組が活発となっている。

令和6年1月には、八重瀬町（やえせちょう）具志頭（ぐしちゃん）地区近辺で生産され、大玉肉厚で光沢があり、苦みが少ないことが特徴的な「ぐしちゃんピーマン」がGIに登録された。これは、県内では、平成29年に「琉球もろみ酢」が初登録されて以来約6年ぶり、青果物としては初めてとなる登録である。続いて同年3月には、中城村（なかぐすくそん）で生産され、鮮やかな黄色とごぼうのような細長い形状が特徴的な沖縄伝統野菜である「中城島にんじん」が登録された。さらに、琉球王朝時代からの伝統菓子であり、お土産品としても人気が高い「ちんすこう」についても、全国初となる菓子での登録に向け申請中である。

沖縄県には、特有の気候・風土の下、全国的にも珍しい独自の食文化や農林水産物・食品が多く存在している。地域で守り育ててきた地域ならではの製品のブランド力を、海外からの多くの観光客にも通用する形で強化していくため、地理的表示（GI）品目の登録拡大が期待されている。



▲ぐしちゃんピーマン



▲中城島にんじん

県産原料を用いた酒類の開発

沖縄県内において、県産品を原料とした酒類の開発の動きが相次いでいる。

平成30年から開始された「琉球泡盛テロワールプロジェクト」では、JAおきなわ等が泡盛メーカー各社と連携し、泡盛の原料用米を県内で生産している。伊平屋島（いへやじま）及び伊是名島（いぜなじま）で生産された原料米を使用して製造された泡盛は、輸出も視野に入れ、古酒とするために熟成中であるほか、一部は新酒として販売され好評を得ている。

県産さとうきびを原料としたラム酒を製造する動きも広がりつつある。（株）伊江島物産センターが伊江島産さとうきびから製造したラム酒は、「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2023」において「ベスト・ジャパニーズラム」を受賞するなど高い評価を受けており、海外にも販路を拡大している。このほか瑞穂酒造（株）が主催する「ONERUM」プロジェクトでは、県内の離島8島で製造された黒糖を原料としたラム酒を製造しているなど、県産原料を利用することでより付加価値を高めた商品の開発が進んでいる。



▲伊是名島での泡盛原料米収穫の様子



▲伊江島産さとうきびから作られたラム酒



▲県産米を使用した泡盛の販売



▲伊江島蒸留所のラム酒熟成樽

沖縄県の農林水産業の話題等（２）

亜熱帯の気候を活かした希少な作物栽培

沖縄県では、年間平均気温が高く、一日の気温の変化が少ない亜熱帯地域の気候を活かし、国内では希少な農産物が栽培されている。

例えばバニラビーンズは、日本への輸入量が年間50tほどあるものの、国内での生産はわずかである。沖縄県内では本島、石垣島及び久米島において無加温で栽培され、香りを引き出す発酵工程（キュアリング）を経て高単価で取引されており、将来の地域農業の振興につながる可能性のある有望な作物の一つである。

このほか、沖縄が栽培の北限とされているコーヒーや、小ぶりではあるが濃厚な甘みと適度な酸味がある島バナナ、『森のアイスクリーム』と呼ばれるアテモヤなど、多種多様な品目が栽培されており、沖縄の主要産業である観光業において、観光資源として利用されることも期待されている。



▲バニラ



▲バナナ



▲コーヒー



▲アテモヤ

OIST発スタートアップ企業の農林水産・食品分野における活躍

世界最高水準の研究大学を目指して平成23年に設立されたOIST（沖縄科学技術大学院大学）では、大学発スタートアップ企業の創出支援も積極的に行っており、農林水産・食品分野においても社会的インパクトのある新事業を創出したスタートアップ企業が次々と生まれ、成果を出している。

その1つであるEF Polymer（株）では、独自技術により、農産物残さ（かんきつ類や海藻類など）を原料とする完全生分解性の「超吸水性ポリマー」を開発し、国内外で事業展開を行っている。本資材を農地に散布することで土壌の保水力・保肥力が向上し、収量の増加や肥料コストの低減等に効果があるとされており、各地の農業者等から注目を受けている。令和5年8月には、沖縄県内の事業者として初めて、農林水産大臣からみどりの食料システム法に基づく基盤確立事業実施計画の認定を受けた。

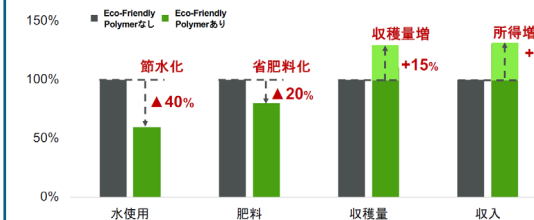
また、同じくOIST発のスタートアップ企業であるWatasumi（株）は、小規模ながらも有機物を含む排水を高効率で浄化処理できる装置を開発し、県内外の食品・飲料メーカーへ事業展開を行っている。本装置の稼働に必要な電力の一部は、浄化処理過程で発生するメタンガスを活用したバイオマス発電により自ら賄うことができるため、今後は電力確保が難しい離島でも導入が進むことが期待されている。



▲EFポリマー

実証実験から見える活用効果

当社SAPは農家の節水化・省肥料化・収量増・所得増に効果が現れている。



▲EFポリマーの効果（EF Polymer社調べ）



▲ Watasumi（株）の製造した排水処理装置